

学 校 だ よ り

平成29年12月13日発行
小野市立旭丘中学校
TEL 0794-63-2750

携帯・スマホ等の情報機器に関するアンケートの結果について 学校長 駒田 一敏

師走の候、保護者の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただきありがとうございます。

さて先般に実施しました「携帯・スマホ等の情報機器に関するアンケート」についての結果がまとまりましたので紙面にてご報告いたします。

今では生活に欠かせない携帯・スマホですが、本来はコミュニケーションの「道具」であったはず。便利な生活のために、人が「使いこなす」ものです。しかし現実はどうでしょうか。その普及に伴い、大人も子どもも生活スタイルが変化してきました、いや変化させられてきたと言えるでしょう。いつの間にか自分の生活を、携帯・スマホに「合わせている」ことが多く見受けられます。AIの発達・普及によって、いつかは人が携帯・スマホに「使われる」、そして「支配される」こともありそうな勢いです。

子ども達の今後の人生は、携帯・スマホ、そしてAIとの関わりなくしてはありえません。だからこそ、「社会的自立への基盤づくり」であるこの時期に、携帯・スマホとの「正しい使い方・つきあい方」を学ばねばなりません。今回の報告や、2月の教育講演会はその一つの機会です。子ども達の健全で幸せな現在と未来のために、ご家庭や地域と連携し情報交換や学びを進めていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校評価アンケートからの課題 (H29～H26)

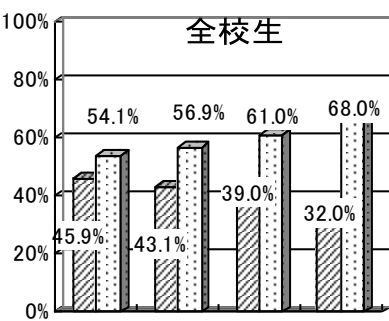
Q 携帯やパソコン等でメールやブログ等に熱中していることがある。

	H29	H28	H27	H26
全体	32.9%	35.8%	29.7%	36.1%
7年生	24.3%	24.1%	28.1%	39.1%
8年生	36.0%	40.5%	41.3%	37.8%
9年生	38.4%	41.7%	18.5%	31.0%

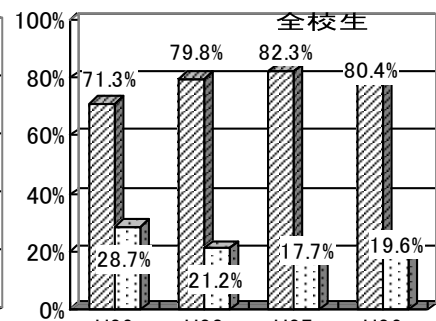
学校評価アンケート(生徒向け)より、『携帯・パソコン等でメールやブログ等に熱中していることがある。』と答えた生徒は学年に関係なくその割合は高く、依然、本校が直面する大きな課題と捉えています。熱中するあまり、家庭において生活習慣が確立できず家庭学習力の向上に繋がっていないのではと危惧しています。よりよい学習環境を生徒・保護者・学校でこれからも連携して創り出すことが大切だと考えています。

携帯・スマホ及び通信機器等に関するアンケートから (H29～H26)

携帯・スマホの所持率



通信機能つきゲーム機や音楽プレーヤー



■持っている □持っていない

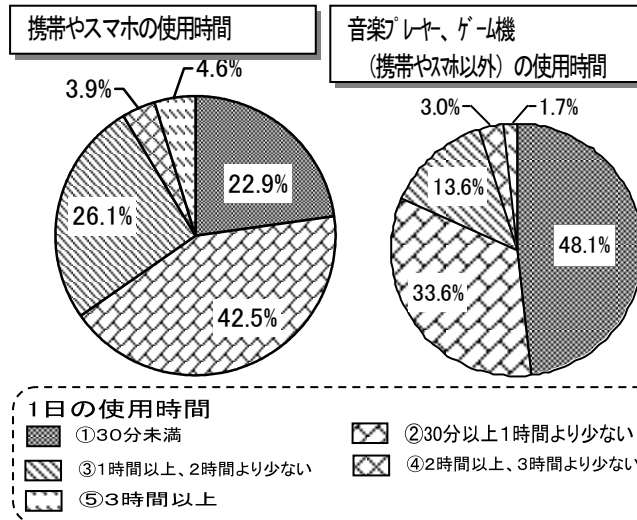
7年生 45.5% 8年生 46.9%
9年生 45.8% *H29各学年の所持率

7年生 78.4% 8年生 75.2%
9年生 59.8% *各学年の所持率

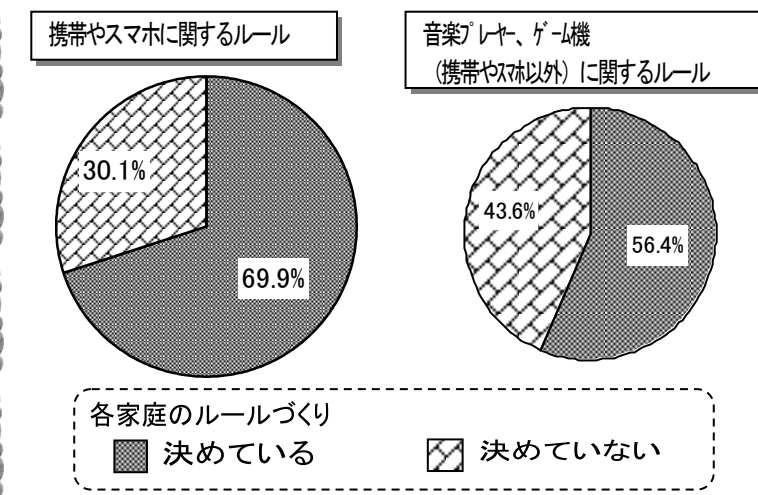
11月に実施した携帯・スマホに関するアンケートから本校の携帯・スマホの所持率は全国(所有率62.5% H28実施)に比べ低い結果でした。しかし、通信機能つきゲーム機や音楽プレーヤーは全校生徒の8割以上の生徒が所持しています。

通信機能つきゲーム機や音楽プレーヤーとは、携帯やスマホから電話機能だけがないものと考えても過言ではありません。インターネットが繋がる(WiFiが使用できる)環境を整えば、無料アプリをダウンロードしメールやオンラインゲーム、SNS等が無料でできます。また、費用面においても購入費だけで済み、携帯・スマホのように毎月の使用料を支払う必要がありません。しかし、携帯・スマホのように依存性があり、フィルタリング機能がないことや課金によるトラブルに巻き込まれる可能性が高いことは忘れてはならないことです。

携帯やスマホ、音楽プレーヤーやゲーム機の1日の使用時間

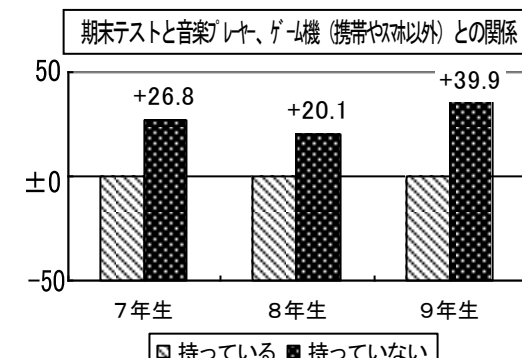
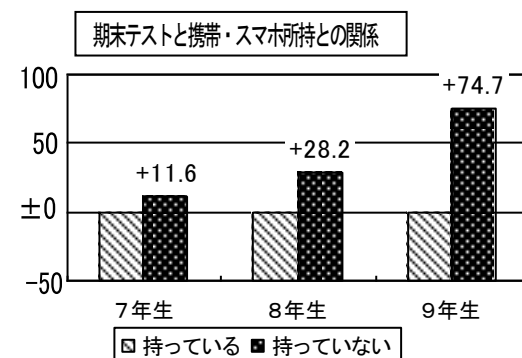


携帯やスマホ、音楽プレーヤーやゲーム機に関する家庭のルールについて

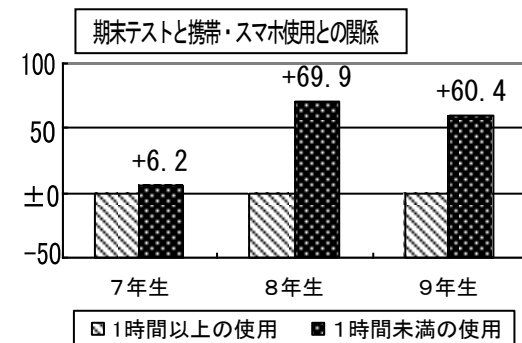


上記のグラフは、携帯・スマホや通信機能付き音楽プレーヤー・ゲーム機の使用時間と各家庭のルールづくりについて示しています。これらの通信機器は、利用の仕方によっては、SNSを通して犯罪被害にあったり、いじめ問題等のトラブルに巻き込まれる危険があることも忘れてはならないことです。また、長時間のメールやゲーム等により集中力不足、睡眠不足、学習効果の低下等の二次的な弊害にも繋がっていきます。上記のグラフから本校も長時間使用する『携帯やスマホ等への依存症』の生徒もかなり見受けられ、危険性を感じています。さまざまな通信機器に関する各家庭のルールについて考える必要があると思います。

携帯やスマホ、音楽プレーヤーやゲーム機と期末テストの関係



★グラフの見方★
左のグラフは、『持っている』『1時間以上の使用』の生徒における5教科合計(得点)の平均を±0ポイントとした場合、『持っていない』『1時間未満の使用』の生徒の5教科合計(得点)の平均をポイントで表したものです。



グラフは、携帯やスマホ等の所有の有無・使用時間と期末テスト(5教科)との関係を示しています。携帯やスマホ等が及ぼす影響が顕著に数値となって現れています。特にスマホの使用量と期末テストとの関係においては、学年が進むにつれその差異が大きくなる結果になっています。さらには、9教科合計・睡眠時間・学習時間も同様の結果となっています。知らず知らずのうちに使用時間が増え、依存症に陥っていることや、それによって学習力の低下だけでなく、人が成長していく上で身に付けていくべき集中力・思考力・創造性・コミュニケーション力等にも大きく影響していることをご理解下さい。

今こそ！家庭と学校の底力の見せどころ

子どもたちの健やかな成長を願うのは、家庭も学校も全く同じです。大人は、子どもが自立するために必要な力を身に付けさせるため、様々な試練を与えます。子どもは、その試練を乗り越えることで、たくましさや豊かな感性が育っていきます。子どもたちの希望ある将来を願うからこそ、温かく時には厳しく支えることが必要です。

★一番大切なことは、子ども自身が真剣に自分を変えたいと思うことです。楽しいことだけを求めるのではなく、自ら律する姿勢が大事です。強い意思と覚悟こそが自分を変える唯一の手段です。

★家庭では、子どもと真剣に話し合いをすすめて下さい。子どもの特性に応じて、時にはルール作り等が必要だと思います。また、携帯・スマホ等の講演会にも積極的に参加し、保護者が正しい認識を持つことが大切です。

★学校も生徒に「志」を抱く教育活動をすすめ、正しい生活習慣・学習の基盤づくりを進めていきます。また、生徒会を中心に互いに磨き合える集団づくりに取り組んでいきます。

＝「人(学校・家庭・生徒)が環境を創り、環境が人を育てる」＝